

## 第10回 医学生・若手医師のための緩和ケアセミナーon WEB

### 緩和医療の専門的な研修プログラム紹介 一覧表

| 施設ID | 施設名                                                   | 都道府県    |
|------|-------------------------------------------------------|---------|
| 1    | 竹田総合病院 緩和医療科                                          | 福島県     |
| 2    | つくば緩和ケアグループ<br>(筑波大学附属病院 緩和支援診療科+筑波メディカルセンター病院 緩和医療科) | 茨城県     |
| 3    | 埼玉県立がんセンター緩和ケア科                                       | 埼玉県     |
| 4    | 国立がん研究センター東病院 緩和医療科                                   | 千葉県     |
| 5    | 東京女子医科大学 化学療法・緩和ケア科                                   | 東京都     |
| 6    | 東京医科歯科大学病院                                            | 東京都     |
| 7    | 国立がん研究センター中央病院                                        | 東京都     |
| 8    | 横浜南共済病院 緩和支援療法科                                       | 神奈川県    |
| 9    | 聖マリアンナ医科大学緩和医療学講座                                     | 神奈川県    |
| 10   | 聖隷三方原病院 ホスピス科・緩和支援診療科                                 | 静岡県     |
| 11   | 名古屋市立大学病院 緩和ケアセンター                                    | 愛知県     |
| 12   | 在宅緩和ケアあすなろ医院                                          | 愛知県     |
| 13   | 医療法人協和会                                               | 兵庫県、大阪府 |



病床数:837床  
緩和ケア病棟:14床  
診療科:30科

所在地:福島県会津若松市  
地域がん診療連携拠点病院  
臨床研修指定病院

病棟  
200名/年

チーム  
250名/年

外来  
100名/年

### 他科との連携

- ・リエゾンチーム回診
- ・他科ローテート
- ・救急外来診療

### 東北大学との連携

- ・東北大学病院での短期研修
- ・大学院入学(医学博士)
- ・論文/書籍執筆

### 研修スケジュール



### 研修指導責任者からのメッセージ

当院での研修の特徴は以下の3つです

1. 自由度の高い研修
2. 他科も含めて指導医との距離が近い
3. 臨床研究も学べる

緩和ケアはすべての医療の根幹となるものです。  
短期間の研修でも多くのことが学べることを保証します。



緩和医療科HP: [http://www.takeda.or.jp/c\\_aid/c\\_care3.html](http://www.takeda.or.jp/c_aid/c_care3.html)

募集要項: <https://sites.google.com/view/takedadrrecruit/kanwa?authuser=0>

連絡先: hiratsuka.med.t@gmail.com (研修指導責任者 平塚裕介)

# つくば緩和ケアグループ 専門的緩和ケア研修プログラム

つくばの緩和は強力な “二本立て”

茨城の「先進医療」「研究・教育」の拠点として  
医療の発展に貢献する



筑波大学附属病院  
University of Tsukuba Hospital

地域がん診療連携拠点病院（高度型）  
がんゲノム医療拠点病院、陽子線治療施設 等  
病床数：800床



2022年 緩和支援治療科 新設 !!

緩和ケアチーム：指導医4名 うち専門医3名

- 緩和ケアチーム・外来  
コンサルテーション：598件/年  
緩和ケア外来新規：246件/年  
非がん 58件/年

⇒ 病院HPは[こちら](#) 緩和支援治療科HPは[こちら](#)  
臨床研修センターHPは[こちら](#)

茨城県南・県西地域の

「救急医療」と「がん医療」を担う



公益財団法人 筑波メディカルセンター

筑波メディカルセンター病院

Tsukuba Medical Center Hospital

地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院 等  
病床数：453床 訪問看護ステーション3か所



緩和医療科：指導医4名 うち専門医3名

- 緩和ケア病棟 病床数：20床 + 一般病床3床  
平均在棟日数：19.2 日 在宅復帰率：39.8 %  
入院患者数：339 名/年
- 緩和ケアチーム  
コンサルテーション：246件/年 非がん：28件/年
- 緩和ケア外来 延べ患者数：2422名/年

⇒ 病院HPは[こちら](#) 緩和ケアセンターHPは[こちら](#)



筑波メディカルセンター病院  
緩和医療科 [facebookページ](#)

さらなる “進化” を続けます！

# 充実した環境で専門的な緩和ケアの研修ができます

## 研修プログラム：筑波大学附属病院 内科専門研修 緩和ケアコース

対象：卒後3年目以上 研修期間：5年

→ 緩和ケアコース紹介HPは [こちら](#)

取得可能資格：3年目修了⇒内科専門医 5年目修了⇒緩和医療専門医

- ◆ 内科専門研修で内科の診療力を身に付けながら、専門的な緩和医療の研修を行い、内科をベースとした専門的緩和ケアのリーダーを担う医師を目指します。
- ◆ 精神腫瘍科の研修、博士号の取得なども、希望に合わせて相談できます。



|     | 4月                               | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月     | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|----------------------------------|----|----|----|----|----|---------|-----|-----|----|----|----|
| 1年目 | 大学病院：内科                          |    |    |    |    |    | 市中病院：内科 |     |     |    |    |    |
| 2年目 | 大学病院：救急＋緩和ケアチーム                  |    |    |    |    |    | 市中病院：内科 |     |     |    |    |    |
| 3年目 | 連携施設：内科・緩和ケア内科など                 |    |    |    |    |    |         |     |     |    |    |    |
| 4年目 | 専門的緩和ケア研修：連携施設 緩和ケア病棟など          |    |    |    |    |    |         |     |     |    |    |    |
| 5年目 | 専門的緩和ケア研修：緩和ケアチーム、在宅、サイコオンコロジーなど |    |    |    |    |    |         |     |     |    |    |    |

※ 卒後5年目以上（他施設でベースの診療科の研修終了後）の短期研修を希望の方は要相談

## 地域の様々なセッティングで連続した緩和ケア

緩和ケアチーム研修：  
筑波大学附属病院  
(緩和医療学会認定研修施設)

在宅緩和ケア研修：  
在宅専門クリニック



その他：

辻仲病院 柏の葉 緩和ケア病棟（柏市）  
友愛記念病院 緩和ケア病棟（古河市）  
水戸協同病院 総合診療科（水戸市） など

急性期緩和ケア病棟研修：  
筑波メディカルセンター病院  
(緩和医療学会認定研修施設)

●：併設の訪問看護ステーション

亜急性期緩和ケア病棟研修：  
つくばセントラル病院  
(緩和医療学会認定研修施設)



## 研修修了者が全国の緩和ケアの現場で大活躍中！

### 《研修実績》

専門医プログラム修了者：9名  
短期研修修了者：9名  
他施設・他科：延べ 41名

### 《資格取得者》

● 専門医 13名 ☆ 全国最多 ☆  
● 認定医 7名

## 見学・オンライン相談 随時受付中！！



＜ 連絡先 ＞

筑波大学 医学医療系 緩和医療学  
秘書 ファネルカー 怜子

[kanwa@md.tsukuba.ac.jp](mailto:kanwa@md.tsukuba.ac.jp)





埼玉県立がんセンター 緩和ケア科

# 先進的 緩和ケア 極める

## 経験・年齢は不問！

専従医師7名、和気あいあいと温かく質の高い緩和ケアを目指して日々臨床を行っています。患者さん、ご家族のQOLを高めるには私たち医師のQOLも高いことが大切だと思っています。緩和ケア診療を共に行なってくださる方、遠慮なくご連絡ください。

科長 余宮きのみ

病院見学は随時受付中！メールやzoom等による相談もお気軽に！

連絡先 余宮きのみ（科長） yomi@saitama-pho.jp  
山中駿（広報担当） yamanaka.shun@saitama-pho.jp



## 豊富な症例

埼玉県唯一の都道府県がん診療拠点病院として診断早期から終末期に至るまで多くの患者さんの診療を行っており、緩和ケア医としてのスキルアップや専門医取得には困りません。

|        |             |
|--------|-------------|
| PCU入院数 | 450～550人／年  |
| PCT依頼数 | 500～600人／年  |
| 外来患者数  | 700～1400人／年 |

# ここが魅力

## スタッフ充実

2023年1月現在で常勤医7名が在籍しています。チーム制で診療にあたっているため一人の医師に負担が集中することはなく、緩和ケアが初めての方も安心して働けます。また夜間休日のお看取りや緊急入院の対応は内科当直医が担っているため時間外呼び出しはほぼなく、休日当番も月1～2回なので自分や家族との時間を大切にできます。

## 他科との連携

がん診療に関わるほぼ全ての診療科が揃っており、緩和照射（痛み、出血、閉塞など）はもちろん、予後やQOLの改善に資するものであればドレナージや内視鏡、その他外科的な介入も積極的に行なっています。ちょっとした相談も気軽にできる風通しの良さがウリで、レジデントでの採用なら希望により他科研修も可能です。

## 豊かな自然

病院周辺は『埼玉県緑のトラスト保全地』にも指定されているほど緑豊かでいつでも森林浴ができてしまいます。埼玉県は農業も盛んで、町内各所にある直売所では旬の野菜や果物を驚きの安さで買うことができます。買うだけでは満足できないという方は市民農園で農家さん指導のもと野菜栽培にもチャレンジできますよ。



## 豊かな学びと ネコ完備

医師 杉浦徳子

2016年卒／2021年入職

私は元々、緩和ケア領域で働きたいと考えていたため、後期研修修了（新専門医制度での内科専門医取得）の直後に当院へ就職しました。

当院を選んだ理由には、素晴らしい指導医の存在や、緩和ケア医が複数人在籍しておりチームで診療にあたっていることが挙げられます。また、病院見学の際に緩和ケア病棟の看護師さんたちのケアへの姿勢に触れ感銘を受けたことも決め手となりました。実際に当院で働き始めてからも症状緩和はもちろんのこと、コミュニケーションや死生観等についても豊かな学びが得られ充実した日々となっています。ぜひ一緒に楽しく診療にあたしましょう！

ちなみに私は病院のそばの寮に住んでいます。病院の周りは森ですが、その実、都内まで1時間ほどでアクセス可能な好立地です。通勤時間は徒歩数分で、しかも途中で猫がいるので最高です。



## 多彩な選択肢 子育ても

医師 山中駿

2014年卒／2022年入職

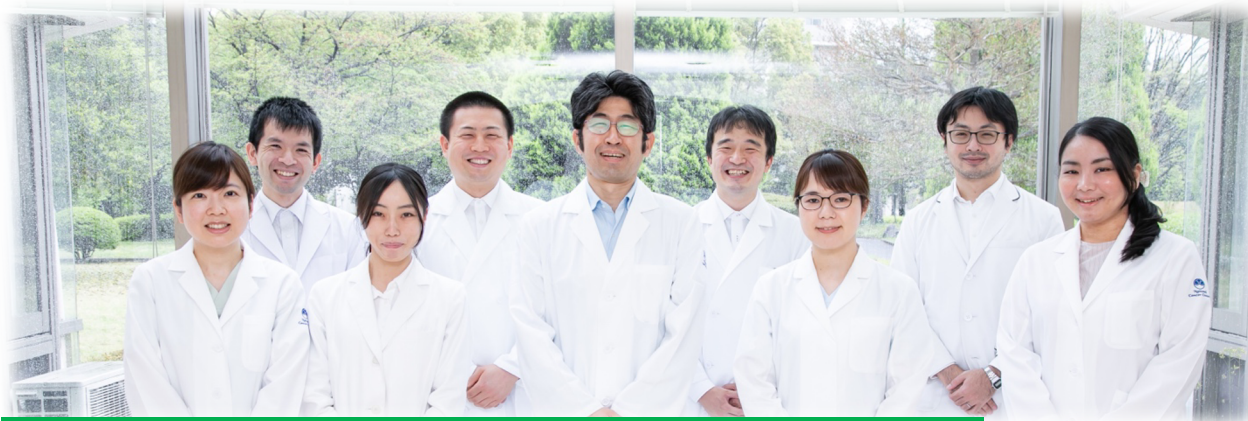
呼吸器内科医として数年間働いたのちに当院で働き始めましたが、今まで自分が経験してきた終末期の患者像と当院でのそれとが全く異なることに大きな衝撃を受けました。苦痛緩和のためのレパートリーが豊富なことが当院の特徴で、正攻法だけでは太刀打ちできない状況に遭遇した時の“次の一手”を考える力を養えることは大きな武器になるかと思います。

一方で殆どのケースで痛みは本質的な問題ではないようにも感じる日々です。患者さんやご家族と向き合い、共に悩むことは泥臭いですが非常にやりがいを感じます。

関係ない話題ですが、第二子が産まれるのに合わせて数ヶ月の育休をいただくことになりました。プライベートのことでもお互いにカバーし合いながら無理せず働ける環境があることも当院の魅力です。緩和ケアへの熱量高めな方、激アツ埼玉へぜひ。



## 国立がん研究センター東病院 緩和医療科



### 国立がん研究センター東病院緩和医療科での研修の特徴

#### ★ 緩和医療科の幅広い活動

緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、外来において、診療科の垣根を越えた  
シームレスな専門性の高い緩和医療を提供しています

日本でもトップレベルの診療実績を誇り、  
多くの専門的緩和ケアの臨床経験を積むことが  
可能です

#### 2021 年度診療実績

|           |       |
|-----------|-------|
| 緩和ケア病棟入院  | 472 名 |
| 支持療法チーム新患 | 544 名 |
| 緩和ケア外来新患  | 402 名 |

#### ★ 在宅医療機関との連携

非がんも含めた在宅医療の長期研修が可能です

#### ★ 精神腫瘍科との連携

緩和医療での必須スキルである精神心理的ケアが  
日常の診療でしっかり学べます

#### ★ 幅広いローテーション先

標準治療から陽子線治療や薬剤の開発などの  
先端治療まで、がん医療を幅広く学べます

#### ★ 緩和医療専門医資格の取得

緩和医療専門医 2 名の指導を受けることができます  
(当院出身者 7 名が取得済みです)



緩和医療科の活動や研修に関する詳細

緩和医療科ホームページ

[https://www.ncc.go.jp/jp/nccw/relief/relief\\_page/index.html](https://www.ncc.go.jp/jp/nccw/relief/relief_page/index.html)



緩和医療科 Twitter

<https://twitter.com/NCCrelief>



緩和医療科・精神腫瘍科 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/nccreliefpage/>



事務局使用欄 施設 ID :  
施設名 :

## 研究に関する研修

### ★ 研究への取り組み

関心のある研究や機器/システム開発に取り組んでいただき、  
国内外の学会での発表や論文作成が可能です

### ★ 多施設緩和ケア抄読会

Web 会議システムにより、多施設で緩和ケア領域の  
論文を網羅しています（毎週開催）

### ★ 横断的なカンファレンスや講義

診療科や研究部門の枠を越えた横断的なカンファレンスや  
臨床研究等に関する講義を受講できます

### ★ 医学博士号の取得

連携大学院（順天堂大学等）があり、  
研修しながら学位を取得することが可能です



## 研修プログラム

臨床経験 5 年以上  
(レジデント修了者に  
相当する者)

臨床経験 2 年以上

レジデント

3 年コース、2 年コース  
短期コース (3~12 か月)

がん専門修練医  
2 年間

任意研修  
研修期間は任意  
(無給)

詳細は募集情報をご確認ください

[https://www.ncc.go.jp/jp/cepcd/recruit/resident\\_index.html](https://www.ncc.go.jp/jp/cepcd/recruit/resident_index.html)



多様な組み合わせが可能

- ★ 緩和ケア病棟
- ★ 緩和ケアチーム
- ★ 緩和医療科外来
- ★ 在宅緩和ケア
- ★ 他科ローテーション  
精神腫瘍科  
オンコロジー全般
- ★ 臨床研究

### 研修や見学に関するお問い合わせは

国立がん研究センター東病院緩和医療科 小杉 和博

メールアドレス: [kanwa-ros@east.ncc.go.jp](mailto:kanwa-ros@east.ncc.go.jp)

見学は随時歓迎！！

お気軽にお問い合わせください

事務局使用欄 施設 ID :  
施設名 :

詳細はぜひお気軽にお問い合わせください

# 東京女子医科大学 化学療法・緩和ケア科

医局員・研修希望者（短期・長期）募集中

興味を持っていたいただきありがとうございます！  
当科の緩和医療/緩和ケア研修の特徴を紹介させていただきます。

## ○ 化学療法・緩和ケア科とは

診療科の名の通り がんの化学療法(抗がん剤)を行う腫瘍内科医と緩和ケア医が常に同じチームでがん患者さんを診療しています。がんの積極的治療中から緩和ケア医があたりまえに介入するという診療体制でがん医療をおこなっています。

## ○ 症例が豊富です

当科では臓器によらない臓器横断的ながん診療を行っています。ひとつの臓器のみを対象とする診療科とは異なり、あらゆる固形がんや肉腫などの悪性疾患を治療対象としており症例が豊富です。

また、当院の緩和ケアチームは、がん、非がん症例を問わず患者さんのあらゆる症状緩和治療に介入、対応しています。東京女子医大病院は病床数1,193床の大きな病院ですが、多くの診療科から年間約150-200件の介入依頼があります。患者さんの様々な症状への対応、ケア、治療など、緩和ケアの専門家を志す先生方に必要な症例を十分に経験し、しっかりと実力をつけていただくことができます。

## ○ 早期からの緩和ケア

当科では、抗がん治療中という、より早期の段階から緩和ケア医の介入を行っていますので、一般の緩和ケア/ホスピス病棟と比較すると、患者さんとやや長めのお付き合いになります。治療の段階から介入が始まるため患者さんと顔見知りとなり、信頼関係が深まり、病状が進行した際にもより深いコミュニケーションをとることが容易になります。がん治療と緩和のあいだに壁がないことが特徴の一つになります。

## ○ 専門としての緩和ケア

様々な抗がん治療の過程で、がん患者さんには病状進行による症状や治療の有害事象による症状が加わります。基本となるがん性疼痛をはじめとした身体的苦痛への薬物療法はもちろん、抗がん剤の副作用対策や支持療法、放射線腫瘍科と連携しての緩和照射、ペインクリニックと連携しての神経ブロック症例も経験していただけます。

病状進行に伴い抗がん治療が難しくなる患者さんやご家族の苦悩へ寄り添い、精神的苦痛への対応、スピリチュアルケアを積極的に行い、最期まで自分らしくいていただくためのサポートをします。日本スピリチュアルケア学会認定の臨床スピリチュアルケア師が在籍しており、ご遺族へのグリーフケア外来を行っています。

## ○ 専門医/認定医 資格取得にむけて

専門家としてしっかり実力と自信をつけていただきながら、効率的に受験資格を得られるように準備をお手伝いいたします。専門医/認定医受験に必要な症例を十分に経験していただけることはもちろん、近く予定されている日本緩和医療学会の専門医制度改定に対応して、新指導医や新専門医など、上位の資格を希望される方へのサポートもいたします。論文作成や学会発表につきましても、ご興味の範囲に沿って研究立案から実施、発表、論文作成に至るまで手厚くお手伝いいたします。

これまで当科のプログラムから専門医3名、認定医2名の合格者が出ており活躍しています。

## ○ 女性医師支援・働き方/研修方法は個別相談いたします

現在子育て中の先生でも負担にならないような研修になるよう、全医局員でフォローいたします！また、子育てなどで臨床から離れてブランクがある先生でも勘が戻るまでゆっくりとしたペースでの研修になるよう配慮いたします。

その他、老若男女問わず、それぞれの希望される働き方に応じた研修内容を相談しながら一緒に考えていきますので、まずはお気軽にご相談ください。

## ○ その他のアピールポイント

- ・ 病院は新宿にあります！美味しいレストランなど多数、お買い物も便利です！
- ・ ご希望の先生はがん薬物療法専門医とのダブルライセンス取得も可能です！

# 東京女子医科大学 化学療法・緩和ケア科

詳細をご希望の方は下記メールアドレスへお気軽にお問い合わせください

〒162-8666 東京都新宿区河田町8番1号

TEL: 03-3353-8111(代) 内線: 23131 (医局)

E-mail: kensyu.ce@twmu.ac.jp

Web site: <https://www.twmu.ac.jp/chemo/>



化学療法・緩和ケア科  
Tokyo Women's Medical University



# 東京医科歯科大学病院

## 緩和ケア科



### 【当院の特徴】

- ★2017年4月から緩和ケア病棟（15床）を開設し、緩和ケアチームは年間約400件程度の新規依頼を受けています。
- ★病院は東京駅近く、御茶ノ水駅から徒歩2分という好立地にあります。
- ★緩和医療認定研修施設であり、専門医・認定医取得をサポートします。
- ★研究にご興味のある方は大学院での医学博士号取得も可能です。（本年度1名が博士号取得）



### 【緩和ケア科 研修プログラム例】

#### ■認定医を目指す場合

緩和ケア病棟、緩和ケアチームにて6か月以上

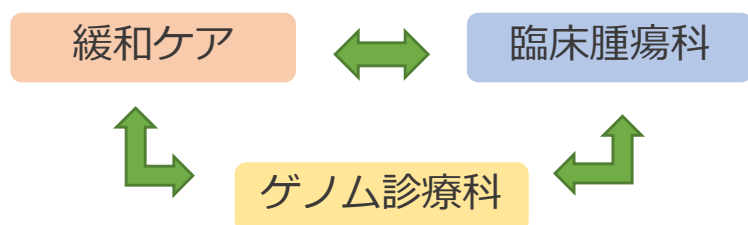
#### ■専門医を目指す場合

- |   |                  |                                     |
|---|------------------|-------------------------------------|
| { | 卒後5年目まで          | — 当大学または関連病院における研修プログラムを希望に応じて事前に相談 |
|   | 卒後5年目以降または状況に応じて | — 2年以上の緩和医療の研修プログラムをニーズに応じて適宜相談     |

|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 緩和ケア1年目 | 緩和ケア病棟での研修を主とする       |
| 緩和ケア2年目 | 緩和ケアチームや協力施設での研修を主とする |



### 【当院 がん先端治療部・臨床腫瘍学分野における緩和ケア科】



がん診療を通じ有機的に連携しており、内科系研修プログラムの相談が可能です。





## 【募集内容】

緩和ケアの診療に携わりたい医員としての募集です。

### ★業務は、

- ・緩和ケア病棟での診療（研修の初めはこちらがメインとなります）
- ・緩和ケアチームでのコンサルテーション業務
- ・医学部学生に対する教育となります。

### ★平日週4日（8時30分～17時30分）で、1日は研究日（外勤日）です。

土日は休日となります（業務に慣れてこられたら、月1回程度の週末当番をお願いすることになります）。当直はありません。

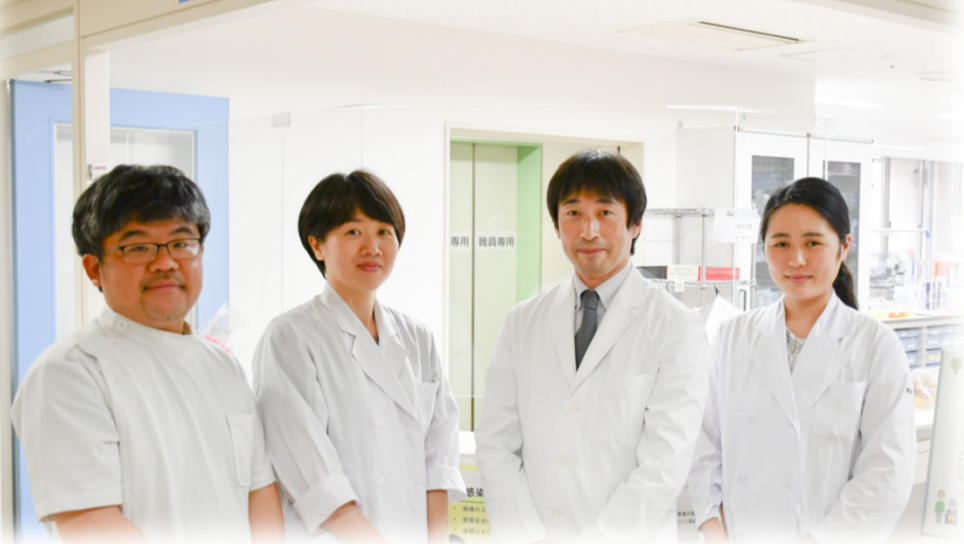
### ★現在、当院緩和ケア科医師は男性医師2人、女性医師2人（うち専門医1名、認定医1名）で子育てや介護などライフワークに沿って時短勤務などの相談が可能です。

### ★給与は大学病院ということもあり、決して期待できるものではありませんが、外勤と組み合わせて何とかやっていけてます。在宅医療の研修は外勤と兼ねてご相談が可能です。

### ★初期研修を修了された方はどなたでもご応募いただけます。

### ★手前みそではありますが、緩和ケア科の医師は優しく、緩和ケア病棟の看護師さんはじめスタッフも良い方ばかりです。働きやすさ・勤務環境の良さには自信があります。

B15 スタッフステーション 緩和ケア病棟 PCU



### 【診療科長】

佐藤信吾



### 【指導責任者】

医局長・外来医長：野里洵子  
病棟医長：入山哲次



### 【所属医師数】

4名  
（非常勤 1名（週1回））



### 【緩和医療専門医・認定医】

専門医 1名  
認定医 1名

- ・研修期間は月～年単位まで希望に合わせてご相談しています。
- ・上記内容にご興味ある方は、お気軽に野里・入山までご連絡ください。見学の日程などご相談したいと思います。
- ・緩和医療を学びたい方とのご縁があることを願いつつ、ご連絡をお待ちしております。



## 問い合わせ先

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45 東京医科歯科大学病院  
緩和ケア科 野里洵子 nozatoj.canc@tmd.ac.jp  
入山哲次 iriyama.canc@tmd.ac.jp



# あなたが緩和ケアを学ぶ10の理由

## 1 年間1,000例を超える症例数！！

当院では国内最多の症例数を経験できます。肉腫、悪性黒色腫などの希少がん、造血器腫瘍や幹細胞移植の緩和ケア、AYA世代や小児、外国人の診療や意思決定支援、治験中の緩和ケア、IVRや緩和的放射線治療など侵襲的緩和処置、診断から治療期の緩和ケアや積極的治療中止などの意思決定支援、様々な経験があなたを鍛えます。



## 2 4チーム体制！指導スタッフが多い

当院の緩和医療科研修はコンサルテーションチーム活動が基本です。緩和ケアチームは国内最多の4チームあり、1チームの施設の4倍以上の緩和ケアチームスタッフが診療しています。毎週行われる緩和ケアチームカンファレンスでは医師だけでなく、看護師、薬剤師、心理士、栄養士、ホスピタルプレイスタッフ、アピランスクラススタッフなど多岐にわたる職種とディスカッションし、学びを深めることができます。

## 3 個別性の高い研修プログラム

研修は主に緩和医療科に固定して行うがん専門修練医（2年間）と、他診療科ローテートが可能なレジデント（2-3年間）のコースがあります。いずれのコースとも希望者は研修期間中に精神腫瘍科や外来、緩和ケア病棟を有する近隣の施設（国立がん研究センター東病院、がん研有明病院、聖路加国際病院など）や非がんを含む緩和診療（国立国際医療研究センター）の研修が可能です。



## 4 学会発表、論文執筆のチャンスが多い

国内外の学会での発表、査読付き英文誌への論文投稿などの機会にあふれています。経験豊富な指導医のもと、レジデントの発表が優秀演題、最優秀演題として表彰されることもしばしばあり、自身のキャリアアップに確実にプラスになります。

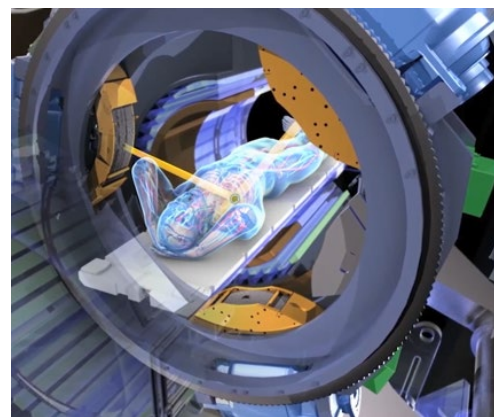
## 5 専門医/認定医/学位が取れる

日本緩和医療学会の専門医、認定医取得に必要な症例数や資格要件を得られることはもちろんのこと、学位取得を希望される方には当院の連携大学院制度（慶應義塾大学、慈恵医科大学、順天堂大学など）を利用した学位取得も可能です。



## 6 最先端のがん医療が学べる

がん医療はゲノム医療、個別化医療のキーワードのもとで日々急速に進歩しています。当院は国内のがん医療のトップランナーであり、遺伝子パネル検査をはじめとする診断技術、新規薬剤の治験、新規放射線治療技術など、普段の臨床の中で日常的に触れられます。院内にはがん診療全体、治療開発、臨床研究を学ぶプログラムが整っており、緩和ケアに限らず最新のがん医療を俯瞰的に学ぶことができます。また、緩和ケア研修会や院内緩和ケアセミナーでは講師としての経験も得られます。

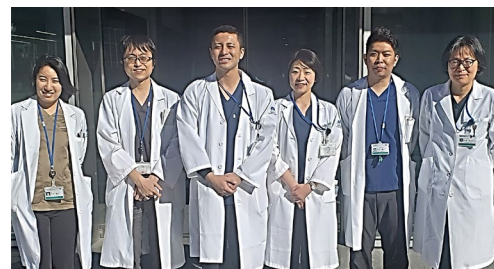


## 7 がん診療経験がなくても大丈夫

がん診療の経験が少なくてもがんセンターの患者さんを担当できるだろうか？と不安な方も大丈夫。緩和ケアチームのOJT (On the Job Training)と院内の勉強会を通じてがん診療に必要な知識と経験が身につきます。過去には循環器内科や精神科出身の医師も研修しています。

## 8 たくさんのレジデント仲間

他診療科も含めると毎年20-40人のレジデントが全国から集まります。自分にはない専門性を持つ同期と教え合いながら共に学ぶ経験はそれだけでも貴重ですし、そこで築き上げた人間関係は間違いなくその後一生の財産になります。



## 9 研修修了後の進路が選べる

緩和医療科研修修了後の進路をご紹介することも可能です。がん専門病院（国立がん研究センター東病院、がん研有明病院）、緩和ケア病棟（永寿総合病院、都立駒込病院）、訪問診療（わたクリニック、ふくろうクリニック）など様々な施設でOB、OGが活躍しています。

## 10 ワークライフバランスの充実

診療科として時間外勤務を少なくする勤務体系をとっているため、休日夜間のスケジュールを立てやすいです。男性医師も産休育休が取得できますし、院内に職員向けの保育園があるため、育児しながらの勤務もできます。病院は東京駅、羽田空港とアクセスしやすく国内の移動は容易。そして銀座や築地市場に隣接しており、通勤にも便利な抜群の立地です。



もっと詳しく知りたい方はこちら

最新情報はfacebookで

気軽にお問い合わせください！

国がん中央 緩和



国立がん研究センター中央病院  
緩和医療科 科長 里見 絵理子  
esatomi@ncc.go.jp

# 横浜南共済病院 緩和支援療法科 医師募集

## これから緩和ケア医になられる先生

- ✓ 日本緩和医療学会緩和医療専門医 研修カリキュラム準拠
- ✓ 緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、訪問診療、すべての学びつつ  
日本緩和医療学会専門医を最短で取得するプログラム
- ✓ 県内の他の認定研修施設との連携もしており、希望に応じ2年目は他の施設に移ることでいろいろな職場の臨床も研修可能です。

1年目

2年目

当院緩和ケア病棟

認定研修施設緩和ケアチーム  
(当院以外でも可能)

在宅療養支援診療所（訪問診療・認定研修施設）

## 職場の異動を考えていらっしゃる緩和ケアの先生

横浜の最南端ですが・・・

- ✓ 環境がいい：海、山、緑が多い
  - ✓ 暮らしやすい：買い物、住宅地、公園、図書館、
  - ✓ アクセスがいい：京急、シーサイドライン、横横、湾岸
  - ✓ 楽しい：八景島、三浦半島、逗子・葉山・鎌倉、横浜
  - ✓ そしてなによりスタッフが素敵！
- 医師、師長さん、看護師さん、薬剤師さん、助手さんも！

## これから訪問診療へ移ることを考えられてる先生

- ✓ 診療科の先生方、訪問診療の先生方が困ったところからスタート  
→あと一歩、二歩といい時間を延ばすことを学べます
- ✓ そうせざるを得ない「てんこ盛り」から引き算の美学へ

まずは見学から  
連絡お待ちしております！

国家公務員共済組合連合会

横浜南共済病院 緩和支援療法科

部長 馬渡弘典

かながわ緩和ケア医キャリアパス説明会 代表幹事

日本緩和医療学会 がん疼痛薬物療法ガイドライン改訂WPG

輸液ガイドライン改訂WPG

日本IVR学会 CTガイド下内臓神経ブロックガイドライン委員

厚生労働省 医療用麻薬適正使用ガイダンス作成検討会委員

Meil: [hiromawa@gmail.com](mailto:hiromawa@gmail.com)

TEL: 045-782-2101(代表)



# 聖マリアンナ医科大学緩和医療学講座

いっしょに緩和ケアに取り組んでいただける方を募集しています

**大学本院：緩和ケア外来、緩和ケアチーム**

がん緩和ケア

非がん緩和ケア：心不全・腎不全・呼吸不全等

**分院（川崎市立多摩病院）緩和ケア病棟**

**修練の機会が豊富です！**

初診カンファ、多職種カンファ等での意見交換・画像カンファ

難治性疼痛への対応（放射線照射の適応検討、神経ブロック等）

ACP部会：院内ACPワークショップの企画運営

非がん緩和ケア部会：事例検討

抄読会（多職種で担当）

臨床研究、学会発表、論文サポート

**スタッフのバックグラウンドが多彩！**

麻酔科・ペインクリニック、腫瘍内科、精神神経科、救急科

いろいろな考え方を学ぶことができます

**子育て中の方歓迎！ セカンドキャリアとしての修練もOK！**

まずは短期（3か月～）で試してみたい方もご相談ください

**日本緩和医療学会認定研修施設（認定医・専門医研修）**

**2022年 大学院開講**

**待遇：当院規定に準じる**

診療科HP <https://www.marianna-palliative.com/>  
(お問い合わせフォームあり)

〒216-8511 川崎市宮前区菅生2-16-1

TEL 044-977-8111（内線3670）

## 大学菅生キャンパス・本院

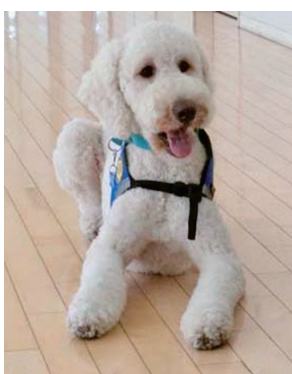
大学本院は2023年1月に新病院棟に移転しました。ピカピカの病院で活動中です。今後、新外来棟建設が進められ、緩和ケア外来は院内聖堂横に移転します



菅生キャンパス内聖堂

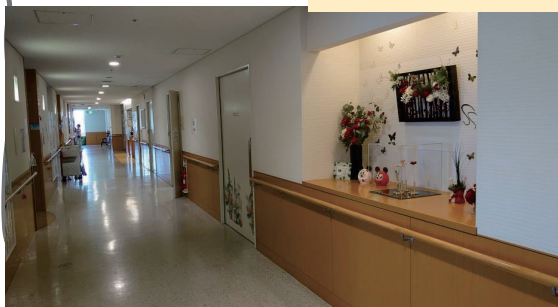


緩和ケアセンターメンバー  
(2022年度)



勤務犬 モリス  
動物介在療法をやっています  
心のケアの強い味方です！

## 川崎市立多摩病院緩和ケア病棟



病棟エントランス

開設したてのホヤホヤ  
12床のこじんまりした緩和ケア病棟です  
ベッドで出られるガーデンは医療系TVドラマ  
の撮影にも使われています



←病室・室内にソファ等あり



病棟直結の  
ガーデン

# 聖隷三方原病院

## ホスピス科・緩和支援診療科

【病院・診療科概要】

聖隷三方原病院は934床（一般810床、精神104床、結核20床）の総合病院です。1930年（昭和5年）5月、当時不治の病として人々に恐れられ忌み嫌われていた結核と貧しさに苦しむ一人の青年を、若きクリスチャンたちが協力しあい、小さな病室を建てて彼を温かく迎え入れたことが当院のはじまりです。1981年にわが国で最初のホスピスとして聖隷ホスピスが開設され、ホスピス科としての活動を開始しました。

2002年には緩和ケアチーム活動も開始し、2003年からは緩和支援診療科として本格的に緩和ケアチーム活動を推進してきました。ホスピス病棟は27床で年間約350名の入院、緩和ケアチームは年間約270名の新規依頼があり、両科は協力しあいながら、病院設立の精神を受け継ぐ質の高い緩和ケアを提供するように努めています。

### 聖隷三方原病院 内科専門研修プログラム 緩和医療専門医コースを開設しました！

- ・ 内科専門医と緩和医療専門医の取得を目指すプログラムです
- ・ 最初の3年間は内科プログラム研修を行い、内科専門医の取得を目指します
- ・ 4年目（開始時期は調節可能）より、2～3年間の緩和医療専門医研修を開始します
- ・ 専門医研修は、3施設がコラボレーションした「ことはなNet」を利用可能です
- ・ 専門医研修のみも可能です

緩和医療専門医コース ローテーション例

| 研修   | 4月                | 5月 | 6月 | 7月    | 8月 | 9月 | 10月     | 11月 | 12月 | 1月        | 2月 | 3月 |
|------|-------------------|----|----|-------|----|----|---------|-----|-----|-----------|----|----|
| 1年次  | 総合1               |    |    | 呼吸器内科 |    |    | 総合2     |     |     | 消化器内科     |    |    |
| 2年次  | 連携施設              |    |    |       |    |    |         |     |     | 特別連携施設    |    |    |
| 3年次  | 総合3               |    |    | 循環器科  |    |    | 選択（救急科） |     |     | 選択（消化器内科） |    |    |
| 4年次  | 聖隷三方原病院 ホスピス科での研修 |    |    |       |    |    |         |     |     |           |    |    |
| 5年次～ | 聖隷三方原病院及び協力施設での研修 |    |    |       |    |    |         |     |     |           |    |    |

ことはなNet

ことはなNet

ことはなNet

tokai(KOmaKI-HAmaMatsu-NAgoYa)-Network for enhancing the career development of palliative physician, psycho-oncologist and medical oncologist



聖隷三方原病院  
・ホスピス  
・緩和ケアチーム



名古屋市立大学病院  
・サイコオンコロジー  
・緩和ケアチーム



在宅緩和ケアあすなろ医院  
・在宅緩和ケア  
・緩和ケア外来



3 施設  
コラボレーション



緩和医療(病棟/在宅/チーム)、サイコオンコロジーを集中的に学びませんか？  
東海圏(浜松-名古屋-小牧)で、緩和ケア医・精神腫瘍医のキャリアをサポートします

- ・ 2-3年のモデルコースあり。プログラムの組み方は相談応需。
- ・ 女性医師を始め、さまざまなライフステージを支援します。
- ・ 臨床研究をはじめたい方を支援します(学位も取得できます)。
- ・ 内科専門医(サブスペ領域含む)取得に関しては、名古屋市立大学病院もしくは聖隷三方原病院を基盤とするプログラムで、卒後3年目からのキャリアパスも支援します。

## 【特色】

**1 ホスピス病棟で主治医としてじっくりと全人的な関わり、症状緩和治療、ホスピスカートを学ぶことができます**

最初は指導医とペアを組んで、ある程度慣れたら単独で主治医として診療し、医師同士のカンファレンスや回診、病棟多職種スタッフとのカンファレンスでpeer reviewしていきます。比較的じっくりと患者さんご家族と関わりを持てます。

**2 緩和ケアチームのコンサルテーション活動を通して幅広い病期の緩和ケアやチーム医療を学ぶことができます**

専門の職種が有機的にチームを組んでいます。抗がん治療中、外来通院中など多様な病期やセッティングでのコンサルテーション業務を主治医や病棟スタッフと協働して行います。

**3 臨床研究に積極的に取り組んでいます**

終末期の難治性症状（せん妄、呼吸困難）の緩和や鎮静薬投与方法の標準化等に関する観察研究や、ランダム化比較試験、遺族調査など幅広いテーマとデザインの臨床研究に取り組んでいます。また、米国で緩和ケアの研修を行った医師を中心に国際共同研究でも中心的な役割を果たしています。これらの主研究・付帯研究を担当することで研究立案から遂行、解析、学会発表や論文文化までのノウハウと実践知を習得できます

**4 知識のアップデートが可能で、臨床試験・論文執筆の指導を受けられます**

抄読会を週1回行い、各医師が順に興味のある論文をシェアしています。また、他の施設とウェブ経由で多施設抄読会を週1回行っており、最新論文を網羅的にレビューしています。国際誌や緩和医療学会誌の査読や編集委員をしている医師が複数いるので、臨床試験や論文執筆、論文投稿の相談が可能です。

**5 多くの研修医師を受け入れています**

研修を希望される医師・研修医を積極的に受け入れ、相互に学ぶことを目指しています。2008年度から3か月以上の研修医師は19名を受け入れ、短期間の研修も受け入れています。

**6 診療ガイドラインや教科書執筆などに携わっています**

各種診療ガイドライン（がん疼痛、呼吸器症状、消化器症状、鎮静、ACPなど）に委員として関わり、教科書（『緩和医療学』『緩和ケアレジデントマニュアル』など）の編集・執筆も行っております。日々の臨床疑問や困難事例に対して専門的な指導や助言を受けることが可能です。

**7 スタッフのワークライフバランスを大切にしている職場です**

ホスピス科では平日夜間・休日を当番制としており、当番でなければ完全にフリーとなります。子育て中の場合や研究時間も状況に合わせてご相談が可能です。



ホスピス病棟での多職種カンファレンス



緩和ケアチームの定期ミーティング



## 【指導責任者】

ホスピス所長：今井堅吾

緩和支援診療科部長：森雅紀

【緩和医療専門医・認定医】

専門医：3名

認定医：2名

【所属医師数】

7名

（ホスピス科4、緩和支援診療科3）

緩和ケアの研修をどうしても迷っていたら、一度聖隷三方原病院へ見学に来て下さい！  
研修期間は日単位から年単位まで、希望に合わせてご相談しています。

〒433-8558 浜松市北区三方原町3453聖隷三方原病院

<http://www.seirei.or.jp/mikatahara/>

電話053-436-1251 FAX053-438-0652

ホスピス科 今井堅吾 e-mail:k.imai@sis.seirei.or.jp

緩和支援診療科 森雅紀 e-mail:masanori.mori@sis.seirei.or.jp



# 名古屋市立大学病院 緩和ケアセンター



## 臨床

緩和ケア医、精神腫瘍医、看護師の他、経験豊富な公認心理師、薬剤師、療法士を中心として、その専門性を活かしたチーム医療を、緩和ケアチーム、緩和ケア外来で実践しています。特に、精神症状緩和や心理的な支援の充実を図り、患者さんやご家族さんの心のケアにも注力していることが特徴です。

## 研究

症状緩和や終末期療養の質の改善に資する研究から、がん患者の抑うつ・不安に対するスマートフォン精神療法の最適化研究、医療事故防止・せん妄予兆検出システムの開発といった先駆的な取り組みまで幅広く取り組んでおります。

学会関連の各種ガイドライン策定にも携わっております。

～ 研究業績(2022年)の一部をご紹介します ～

- ・乳がん患者の再発恐怖をスマホアプリで軽減することに初めて成功した(Akechi T. J Clin Oncol 2022)
- ・進行肺がん患者の病状認識と繰り返しの病状説明の関連を明らかにした(Hasegawa T. Oncologist 2022)
- ・AYA世代のがん患者のうつ病のリスクファクターを明らかにした(Akechi T. Psychooncology 2022)
- ・在宅緩和ケアサービスの導入の促進因子と障壁を明らかにした(Hasegawa T. Support care Cancer 2022)

## 教育

下記、ことはなNetに参加して、緩和医療専門医・登録精神腫瘍医の育成に取り組んでおります。医学部6年生に対する卒前教育、研修医・専門研修医に対する卒後教育、大学院（精神腫瘍学）教育にも携わっております。

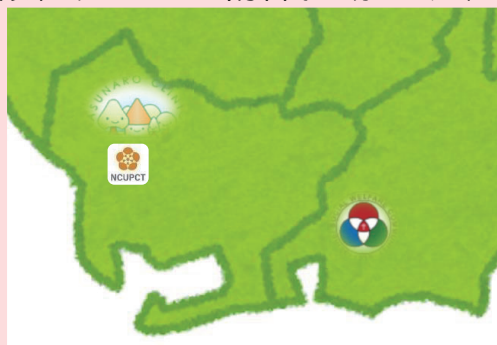
# ことはなNet

緩和医療専門医取得・専門的緩和ケアの研修



3 施設コラボレーション

緩和ケア医・精神腫瘍医キャリアサポートネットワーク 東海



聖隷三方原病院  
・ホスピス  
・緩和ケアチーム



名古屋市立大学病院  
・サイコオンコロジー  
・緩和ケアチーム



在宅緩和ケアあすなろ医院  
・在宅緩和ケア  
・緩和ケア外来



くわしくは



緩和医療(病棟/在宅/チーム)、サイコオンコロジーを集中的に学びませんか？

東海圏(浜松-名古屋-小牧)で、緩和ケア医・精神腫瘍医のキャリアをサポートします！

- ・2-3年のモデルコースあり。プログラムの組み方は相談応需。
- ・女性医師を始め、さまざまなライフステージを支援します。
- ・臨床研究をはじめたい方を支援します(学位も取得できます)。
- ・内科専門医(サブスペ領域含む)取得に関しては、名古屋市立大学病院もしくは聖隷三方原病院を基盤とするプログラムで、卒後3年目からのキャリアパスも支援します。

## 研修プログラム（モデルコース）

本プログラムは日本緩和医療学会の研修カリキュラムに準拠しており、緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、在宅緩和ケアの全ての診療が経験できます。緩和ケア医が経験を積むことが難しく、一方で学習ニーズが極めて高い、サイコオンコロジーや精神医学、緩和支援領域の臨床研究に関しても深く学ぶ機会を提供できることが本プログラムの特色です(研修期間中から社会人大学院生として、博士号の取得を目指すことも可能です)。

### ☆研修モデルコースの例(2年間コース)

| 専門研修 | 4月                                                                  | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月                                                                                | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|---------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|----|----|----|
| 1年目  | ホスピス病棟・緩和ケアチーム研修<br>(聖隷三方原病院 ホスピス科・緩和支援診療科)<br>ホスピス病棟での研修を中心に研鑽を積みま |    |    |    |    |    |                                                                                    |     |     |    |    |    |
| 2年目  | 在宅緩和ケア研修<br>(在宅緩和ケアあすなろ医院)<br>緩和医療専門医と協働して在宅緩和ケアの研鑽を積みま             |    |    |    |    |    | 精神腫瘍・緩和ケアチーム研修<br>(名市大病院 緩和ケアセンター)<br>緩和ケアチーム診療に加えて、精神腫瘍医・公認心理師などと協働して精神腫瘍学の研鑽を積みま |     |     |    |    |    |



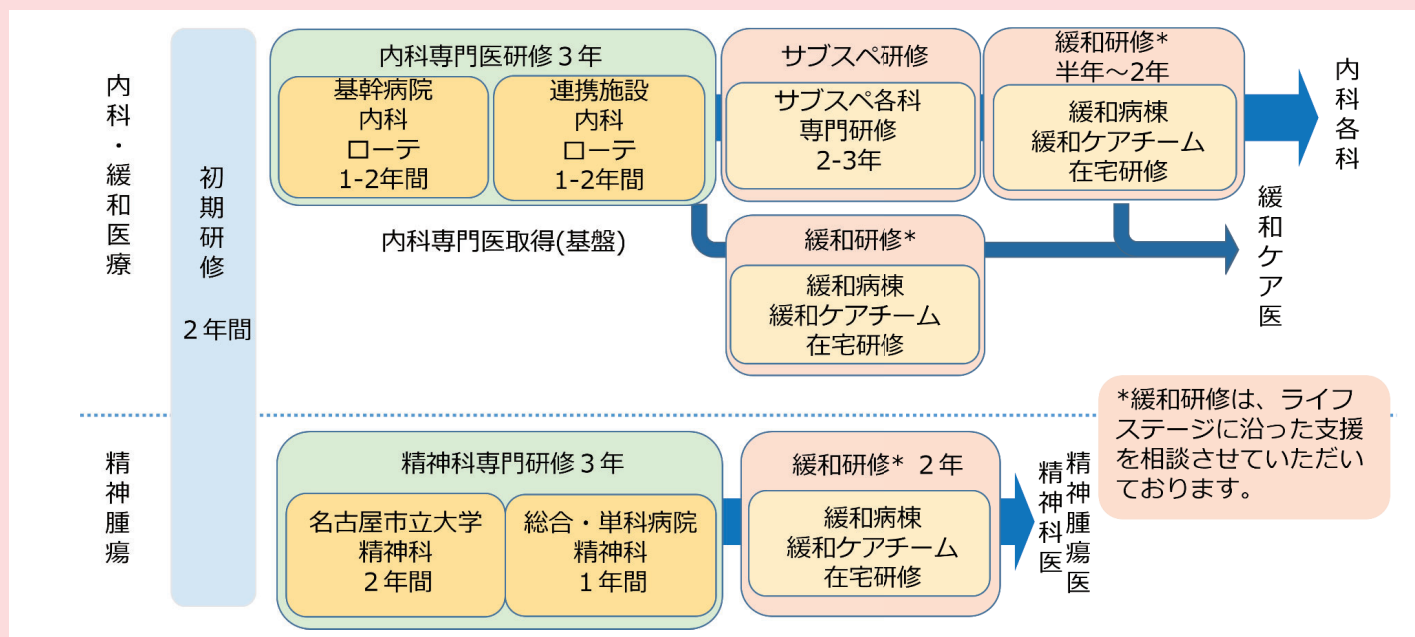
☆ 緩和ケアチーム カンファレンス  
それぞれの専門性を尊重し、活発なコミュニケーションを心がけています

開始時期、ローテーション順、研修期間や施設選択等は相談のうえ決定

内科専門医＋緩和医療専門医の取得を考えられている方へ  
精神科専門医＋登録精神腫瘍医の取得を考えられている方へ

☆内科医としての医学的判断や技術、特に疾患の軌跡の理解、エビデンスに基づいた診療の実践、がん診療の基本的な知識、非がん疾患における複雑な病態の理解などは身に付けておくことも有用です。名古屋市立大学内科専門研修プログラムと連携して、内科専門医の取得やサブスペシャリティ領域の研鑽を積む機会も提供できます。

☆精神腫瘍医としてキャリアを積むことをお考えの方には、基盤領域としての精神科専門研修をお奨めしております。こちらもお気軽にご相談ください。



名古屋市立大学病院 緩和ケアセンターは、緩和医療・精神腫瘍学の専門研修を希望する方を支援します

連絡先：ncupsychiatry@gmail.com

## 在宅緩和ケア あすなる医院



## 「施設紹介」

当院は愛知県小牧市（尾張北部地域）で2020年4月より診療を開始した在宅緩和ケア診療を中心に行う無床診療所です。

緩和医療専門医である院長 渡邊紘章を中心に外来、在宅での専門的緩和ケア診療を提供しています。

在宅ホスピスとして機能することはもちろんですが、患者さんやご家族と療養場所についての相談を行いながら、外来通院希望があれば外来での緩和ケアを提供し、緩和ケア病棟が必要であれば、適切なタイミングで入院ができるように密接に近隣緩和ケア病棟と連携して診療を行っています。



## 「当院の一日」



## 「カンファレンスでの情報共有」



## 「外来待合兼サロンスペース」

## 「現在の診療体制」

医師：6名（常勤2名、非常勤4名）

- ・ 緩和医療専門医1名、認定医2名
- ・ 放射線治療専門医1名

看護師：常勤3名(PCU勤務経験あり)

- ・ がん性疼痛看護認定看護師：1名
- ・ ケアマネジャー資格あり：1名

## 「診療実績」

自宅看取り

- ・ 2020年4月-2021年3月 76名
- ・ 2021年1月-2021年12月 99名
- ・ 2022年1月-2022年12月 101名



## 「緩和ケア外来」

1) 緩和ケア外来、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟の経験を持った緩和医療専門医から在宅緩和ケア診療について学ぶことができます。

2) 在宅緩和ケアにおける多職種連携（ケアマネジャー、訪問看護ステーション、ヘルパー、緩和ケア病棟）について学ぶことができます。

3) 緩和ケア病棟と同様にシリンジポンプなどのデバイスを使用した管理方法を学ぶことができます。

4) 多職種コミュニケーションにおいてICTツールを活用した連携方法を学ぶことができます。

5) 日本では研修場所がまだまだ少ない  
「在宅緩和ケアを深く学べる」施設です！！



ぜひ専門的緩和ケアを深める中で在宅緩和ケアを経験してください。  
 見学はもちろん、研修期間や時期など柔軟に対応可能です。

「当院相談窓口 院長 渡邊紘章 [zaitaku.asunaro@gmail.com](mailto:zaitaku.asunaro@gmail.com)」

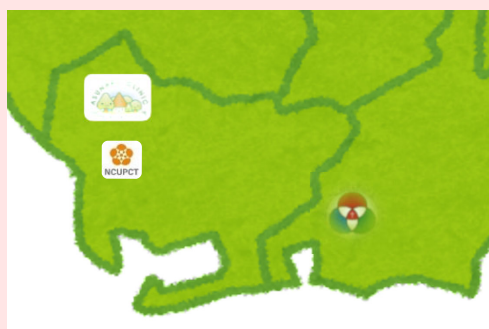
以下の3施設コラボレーション研修プログラムも是非ご覧ください。

# ことはなNet

緩和医療専門医取得・専門的緩和ケアの研修



施設コラボレーション



聖隷三方原病院  
 ・ホスピス  
 ・緩和ケアチーム



名古屋市立大学病院  
 ・サイコオンコロジー  
 ・緩和ケアチーム



在宅緩和ケアあすなる医院  
 ・在宅緩和ケア  
 ・緩和ケア外来



くわしくは



**緩和医療(病棟/在宅/チーム)、サイコオンコロジーを集中的に学びませんか？**

**東海圏(浜松-名古屋-小牧)で、緩和ケア医・精神腫瘍医のキャリアをサポートします**

- ・2-3年のモデルコースあり。プログラムの組み方は相談応需。
- ・女性医師を始め、さまざまなライフステージを支援します。
- ・臨床研究をはじめたい方を支援します(学位も取得できます)。
- ・内科専門医(サブスペ領域含む)取得に関しては、名古屋市立大学病院もしくは聖隷三方原病院を基盤とするプログラムで、卒後3年目からのキャリアパスも支援します。

緩和ケア医・精神腫瘍医キャリアサポートネットワーク 東海  
 在宅緩和ケア あすなる医院 問い合わせ窓口  
 院長 渡邊紘章 [zaitaku.asunaro@gmail.com](mailto:zaitaku.asunaro@gmail.com)

# 医療法人協和会 (兵庫県、大阪府) 緩和ケア医募集

## JOIN US !!

### 医療法人協和会で研修するメリット

#### ①規模の大きなグループでメンターが多数在籍

緩和ケア病棟は4病院に101床（※）

緩和ケア医師 12名在籍（うち専門医6名、認定医2名）

※すべての施設が日本緩和医療学会認定研修施設です

#### ②魅力ある研修環境

緩和ケアチーム、緩和ケア病棟、在宅での研修が可能。

法人内のペインセンター、訪問看護・介護部門と連携した研修ができます

#### ③本物の緩和ケアを追求

身体症状の緩和のみならず、スピリチュアルケア、地域連携、がんサロン運営などにも注力。研究指導も可。

専門医・学位取得をサポートします

#### ④都市型医療法人

阪神地区にあり、生活至便、子育てにも適した環境。

労務環境の整ったホワイト企業

2022年9月 新病院開設  
高度急性期・急性期 405床  
全個室病棟



## 緩和ケア関連施設（病院）

- 市立川西総合医療センター（兵庫県川西市：緩和ケアチーム）
- 協和マリナホスピタル（兵庫県西宮市：30床）
- 第二協立病院（兵庫県川西市：22床）
- 協立温泉病院（兵庫県川西市：24床）
- 千里中央病院（大阪府豊中市：25床）

※法人内の施設でローテーション研修を受けることが可能です



浦浜憲永（専門医）  
協和マリナホスピタル



羽多野裕（専門医）  
第二協立病院



森一郎（認定医）  
協立温泉病院



前田一石（専門医）  
千里中央病院

| 要項      | 内容                                                                                   |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 勤務時間    | 平日： 9:00～17:00<br>土曜： 9:00～12:30<br>医師短時間勤務制度あり                                      |
| 夜間当直    | なし（希望により可：別途当直料あり）                                                                   |
| 給与等     | 法人医師採用サイト（QRコード）に記載                                                                  |
| 休日      | 日曜日、祝祭日、土曜日半日休み                                                                      |
| 休暇      | 年間総休日数：111日<br>有給休暇：初年度（4月入職）11日、最高年間20日                                             |
| 学会出席費用  | 年1回公費（原則3日以内）                                                                        |
| その他     | 賠償責任保険完備（保険料病院負担）                                                                    |
| お問い合わせ先 | 医療法人 協和会法人本部 総務部 松本<br>TEL：072-758-2102（総務部）<br>E-Mail：matumoto@kyowakai.com（総務部 松本） |

法人ホームページ

<https://www.kyowakai.com/>

医師採用サイト

<https://www.kyowakai-saiyou.com/doctor/>



（法人HP）



（医師採用）